

# いわて定住交流体験ツアーが開催されました

岩手県が主催する「いわて定住交流体験ツアー」が2月14日(土)～16日(月)、2泊3日の行程で行われました。

首都圏にお住まいの21名の方々に参加いただき、西和賀町～花巻市～遠野市～住田町～平泉町を巡った今回のツアー。

実際に岩手に移住された方からお話を聞いたり、各自治体ならではの体験や美味しい料理を堪能したり、十分に「いわて」らしさを満喫いただけたものと思われま

す。最終日の16日は、住田町に滞在いただき、竹細工や布草履の制作体験、郷土料理に舌鼓を打ちながら、地元住民との交流を楽しんでいただきました。

## 工芸品の制作体験(9:30～11:00)

住田町に到着いただいたツアー参加者の皆さんには、まず、本町に古くから伝わる工芸品の制作体験をしていただきました。

今回、皆さんに挑戦いただいたのは、底の直径20cm、高さ15cmほどの竹かごと、色鮮やかな布草履づくり。

地元で伝統的生活技術の伝承に取り組んでいる方々が講師をつとめ、会場内には、標準語と「地元の方言」が入り交じるなど、終始にぎやかな交流風景が広がりました。

はじめての体験に、悪戦苦闘する様子も見られましたが、講師陣の丁寧な指導もあり、皆さん、滞在内に一品を完成させ、ツアー参加の思い出として持ち帰っていただきました。



## 移住情報の提供(11:10～11:30)

皆さんには、本町への移住に関する情報提供もさせていただきます。

はじめに、町内各地区に整備される町営住宅を見学。木造1戸建て、75㎡程度で間取りは3K。首都圏と比較し格安の家賃設定。そして何より、豊かな自然環境に囲まれたシチュエーションに、参加者の皆さんは大変魅力を感じられたようでした。

引き続き、施設内においては、生活に関連する情報(医療・福祉機関や公共交通の状況など)の提供や、四季を通じたライフスタイルの提案をさせていただきます、参加者の皆さまからは様々のご質問が寄せられました。



## 昼食(11:40～12:30)

昼食では、皆さんに、住田の郷土料理を堪能していただきました。

地元の食生活改善グループの会員が腕をふるった6品ほどがテーブルの上に。住田産の食材を活用した素朴な味に、目の前のお皿は、次々ときれいに空いていました。

それぞれの席上では、料理のレシピなどで、会員との談笑の輪が広がっていました。



おしながき

一、小豆ときびのおふかし

(もち米・小豆・もちきび)

二、住田の手づくり寄せ豆腐

(遊休農地を活用して栽培した住田産の大豆を使用)

三、お煮しめ

(岩豆腐・じゃが芋・大根・人参・ごぼう・干しいたけ・板こんにゃく・結び昆布・さつま揚げ・焼きちくわ)

四、清流鶏のひつつみ

(南部小麦・清流鶏・大根・人参・ごぼう・舞茸・ねぎ)

五、旬野菜を活用した香の物二品

・旬野菜の三色巻き浸し(白菜、寒じめほうれん草、人参)  
・わらびの酢の物(わらび、住田の切干大根、人参、生姜)

六、住田いちご添え・ヨーグルトムース

(住田いちご、ヨーグルト、生クリーム)